

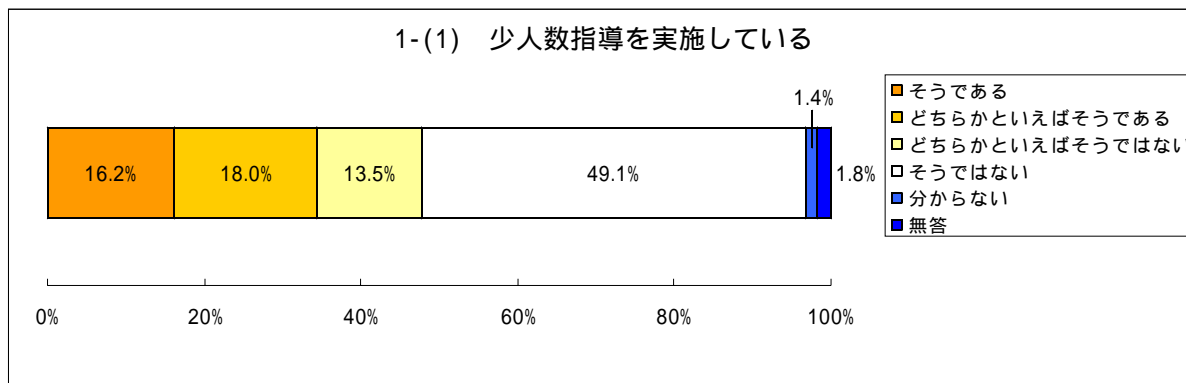
高等学校学級担任

番号	質問項目
1 - 1	少人数指導
1 - 2	チーム・ティーチング
1 - 3	習熟度別指導
1 - 4	コンピュータ活用授業
1 - 5	学校図書館活用授業
1 - 6	課題解決的学習
1 - 7	読書を習慣化させる取り組み
1 - 8	発展的課題を取り入れた授業
1 - 9	補充指導
1 - 10	宿題
2	児童生徒たちの授業の理解度の認識
3	総合的な学習の時間の課題
4	習熟度別指導の課題
5	児童生徒の平日の家庭学習時間の指導
6 - 1	評価活動
6 - 2	評価の客観性
6 - 3	児童生徒の観察
6 - 4	指導方法へのフィードバック
6 - 5	児童生徒の学習状態の連絡
6 - 6	学習意欲を高める評価
6 - 7	評価と入試選抜方法
7	家庭や地域社会に望むこと

問1 - 1 少人数指導

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

- 「少人数指導を実施している」
- 1 そうである
 - 2 どちらかといえばそうである
 - 3 どちらかといえばそうではない
 - 4 そうではない
 - 5 分からない

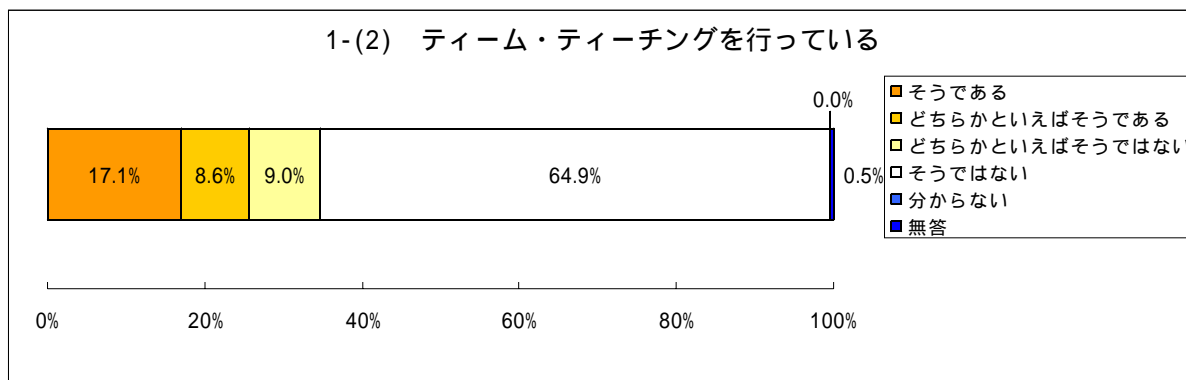


「どちらかといえばそうである」と合わせると、少人数指導を実施している学級担任はおよそ3人に1人(34.2%)である。

問1 - 2 ティーム・ティーチング

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

- 「ティーム・ティーチングを行っている」
- 1 そうである
 - 2 どちらかといえばそうである
 - 3 どちらかといえばそうではない
 - 4 そうではない
 - 5 分からない



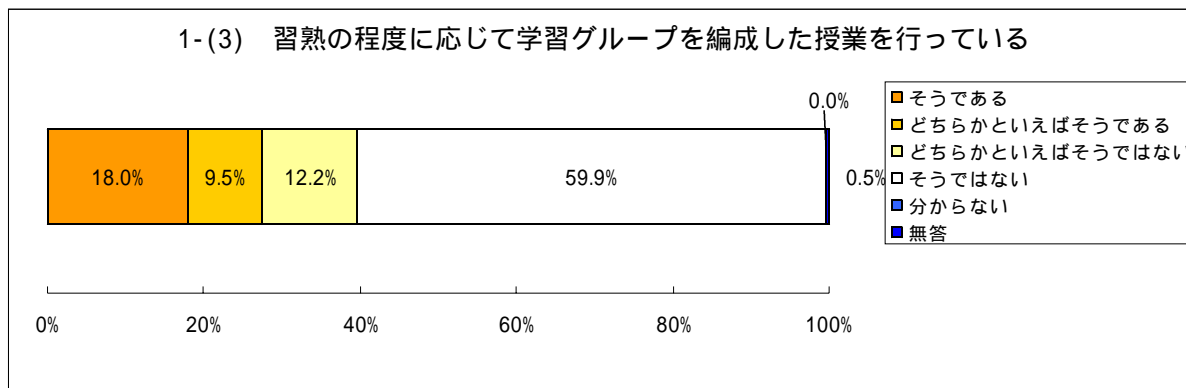
「どちらかといえばそうである」と合わせると、ティーム・ティーチングを行っている学級担任はおよそ4人に1人(25.7%)である。

問 1 - 3 習熟度別指導

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「習熟の程度に応じて学習グループを編成した授業を行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



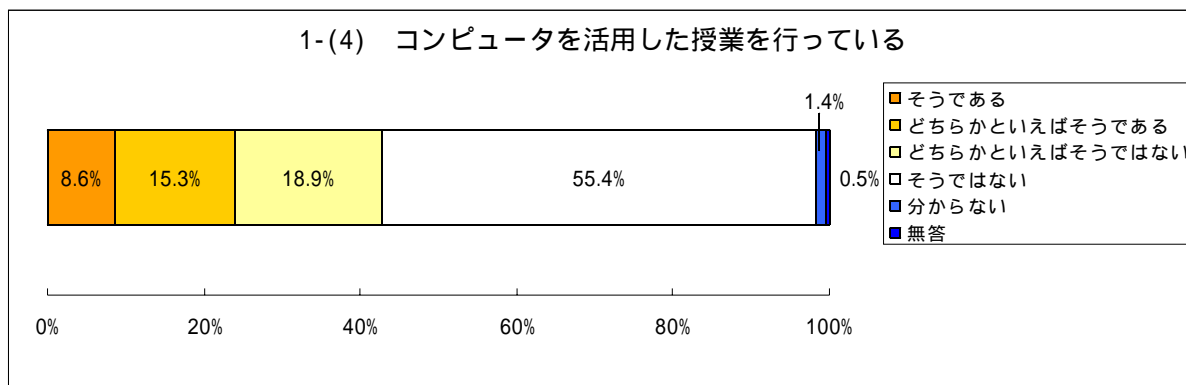
「どちらかといえばそうである」と合わせると、習熟の程度に応じて学習グループを編成した授業を行っている学級担任は27.5%である。

問 1 - 4 コンピュータ活用授業

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「コンピュータを活用した授業を行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



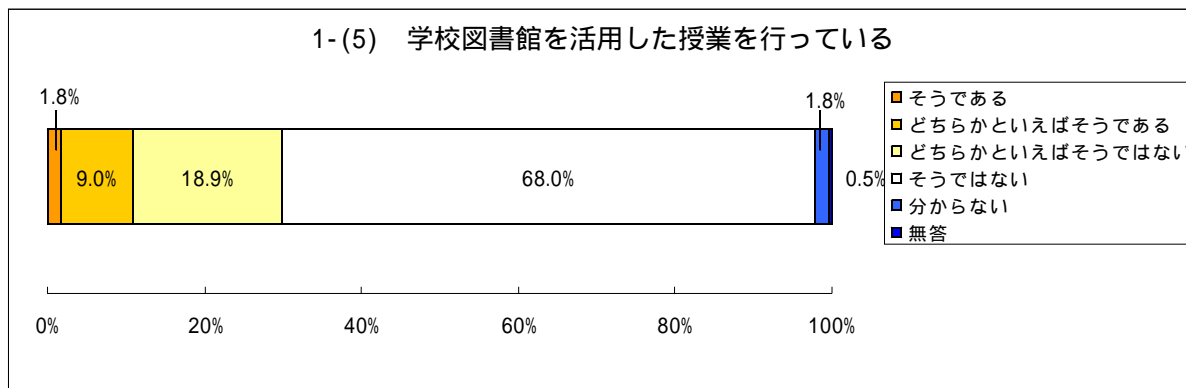
「どちらかといえばそうである」と合わせると、コンピュータを活用した授業を行っている学級担任はおよそ4人に1人（23.9%）である。

問 1 - 5 学校図書館活用授業

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「学校図書館を活用した授業を行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



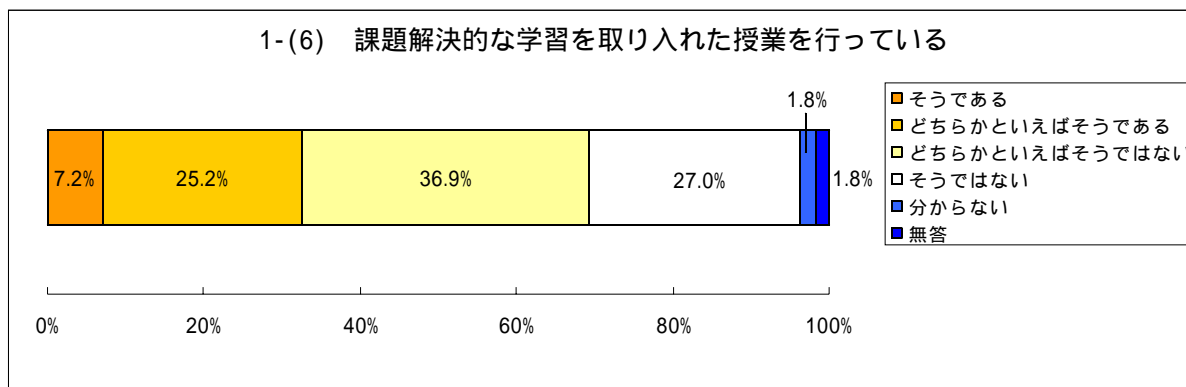
「どちらかといえばそうである」と合わせると、学校図書館を活用した授業を行っている学級担任は10.8%である。

問 1 - 6 課題解決的学習

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



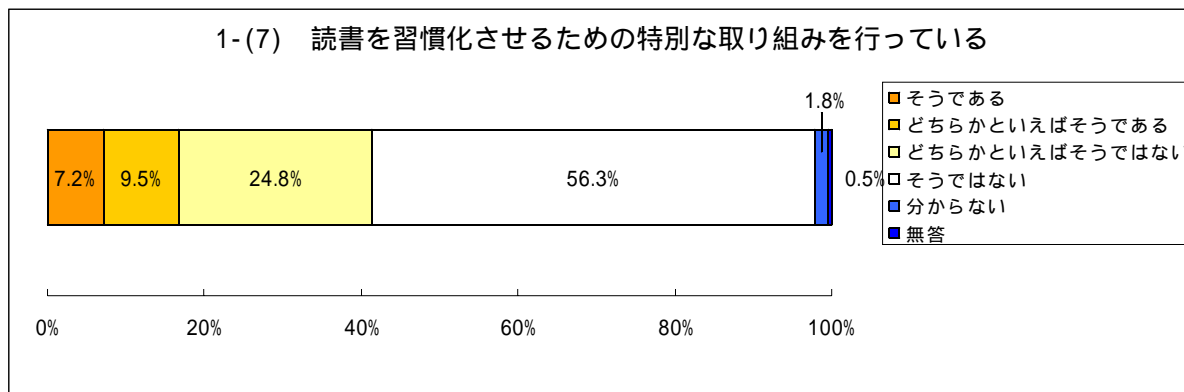
「どちらかといえばそうである」と合わせると、課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている学級担任は32.4%である。

問1 - 7 読書を習慣化させる取組

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「読書を習慣化させるための特別な取組みを行っている」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



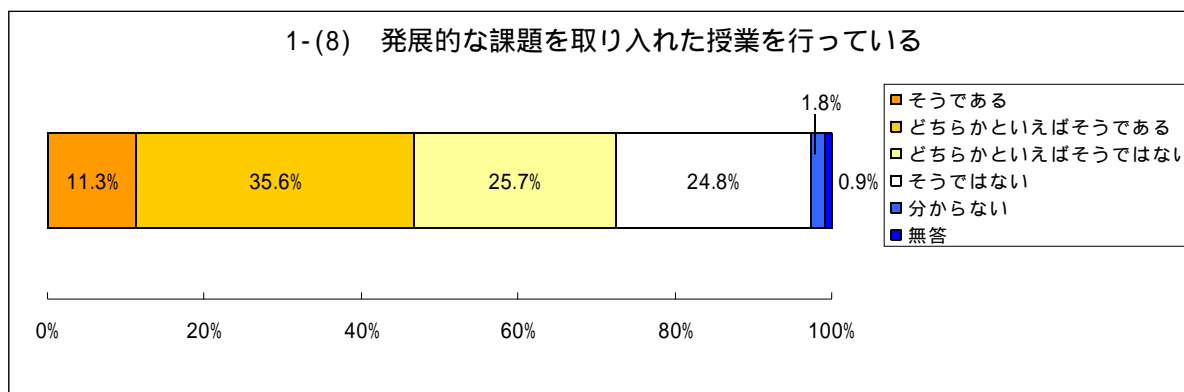
「どちらかといえばそうである」と合わせると、読書を習慣化させるための特別な取組みを行っている学級担任は16.7%である。

問1 - 8 発展的課題を取り入れた授業

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「発展的な課題を取り入れた授業を行っている（一部の生徒を対象に発展的な課題を与える場合も含む）」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



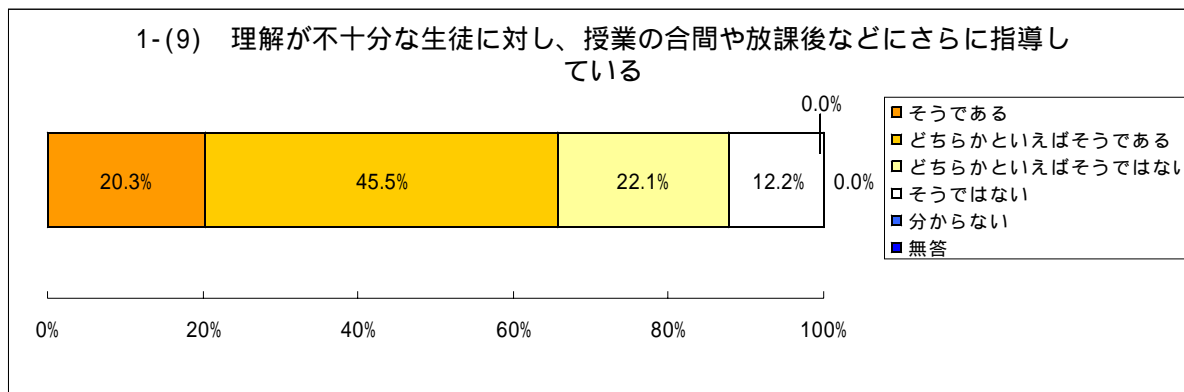
「どちらかといえばそうである」と合わせると、発展的な課題を取り入れた授業を行っている学級担任は46.9%である。

問 1 - 9 補充指導

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「理解が不十分な生徒に対し、授業の合間や放課後などにさらに指導している」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない



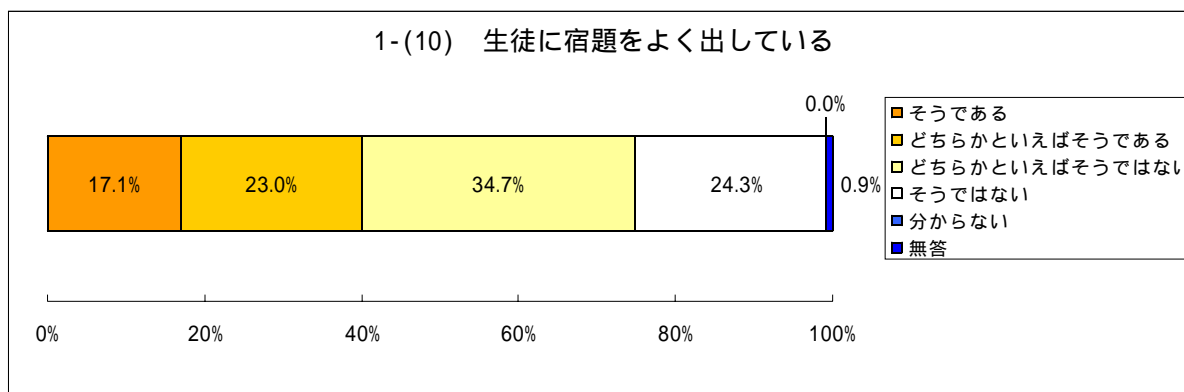
「どちらかといえばそうである」と合わせると、理解が不十分な生徒に対し、授業の合間や放課後などにさらに指導している学級担任は65.8%である。

問 1 - 10 宿題

あなたがふだん行っている指導に関して、あてはまるものを一つ選んでください。

「生徒に宿題をよく出している」

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない
- 5 分からない

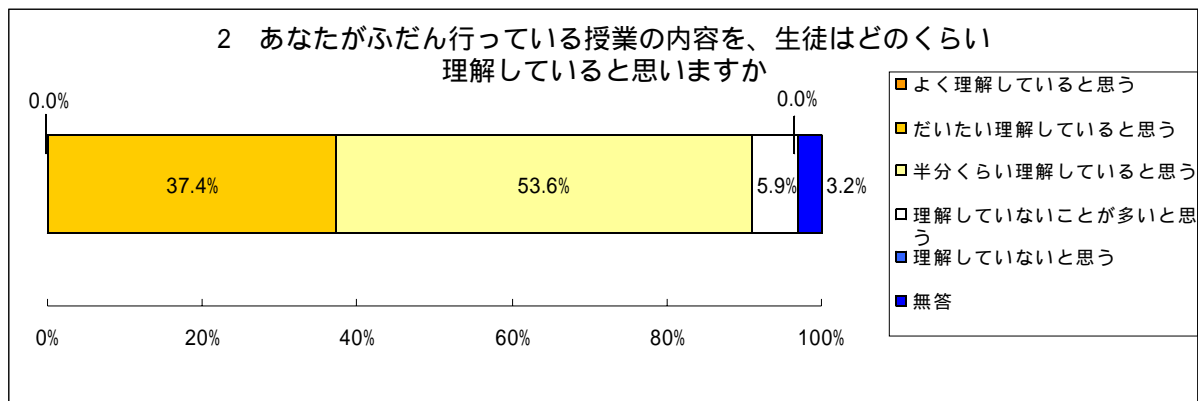


「どちらかといえばそうである」と合わせると、生徒に宿題をよく出している学級担任は約4割(40.1%)である。

問2 児童生徒の授業の理解度の認識

あなたがふだん行っている授業の内容を、生徒はどのくらい理解していると思いますか。一つ選んでください。

- 1 よく理解していると思う
- 2 だいたい理解していると思う
- 3 半分くらい理解していると思う
- 4 理解していないことが多いと思う
- 5 理解していないと思う

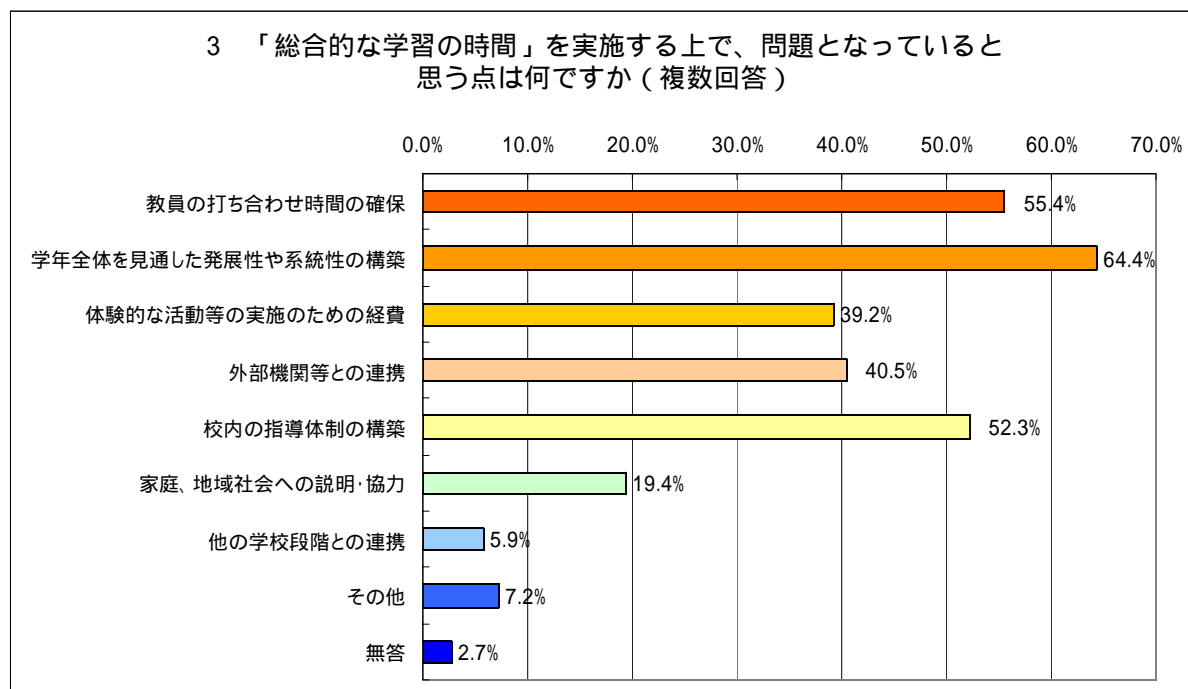


「よく理解していると思う」と答えた学級担任はいなかった。「だいたい理解していると思う」が4割弱、「半分くらい」が5割強（53.6%）であった。

問3 総合的な学習の時間の課題

「総合的な学習の時間」を実施する上で、問題となっていると思う点は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 教員の打ち合わせ時間の確保
- 2 学年全体を見通した発展性や系統性の構築
- 3 体験的な活動等の実施のための経費
- 4 外部機関等との連携
- 5 校内の指導体制の構築
- 6 家庭、地域社会への説明・協力
- 7 他の学校段階との連携
- 8 その他（具体的に)

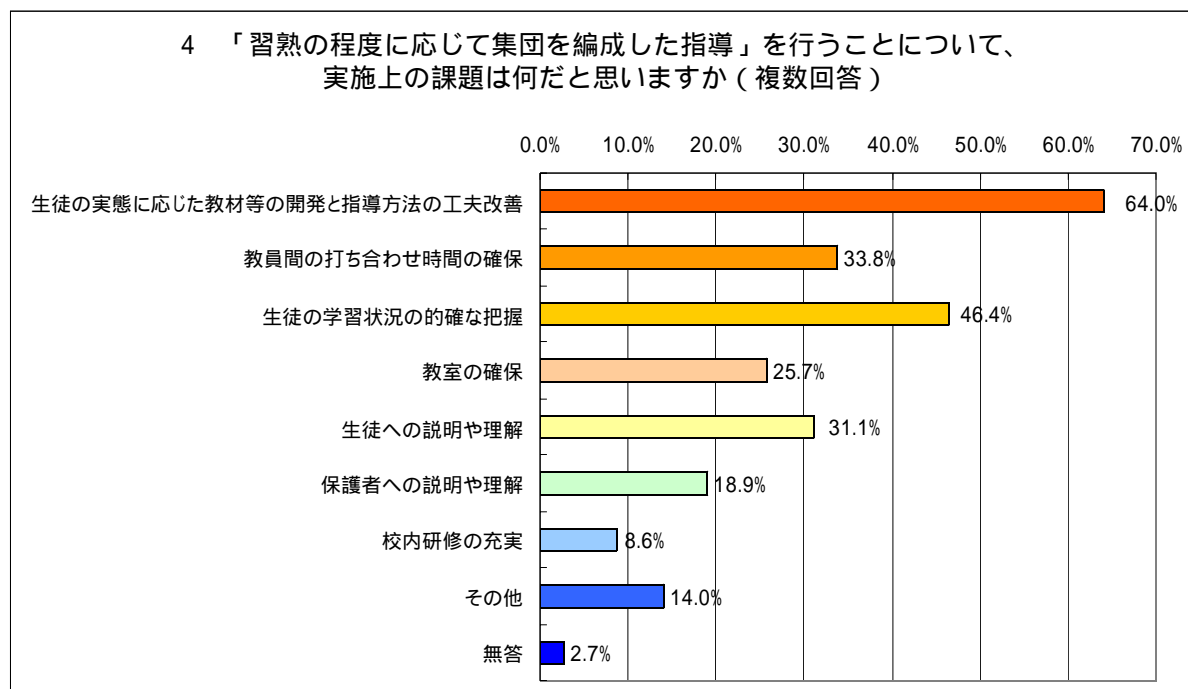


小学校と同様に「学年全体を見通した発展性や系統性の構築」が最も多く（中学校は2番目）、「教員の打ち合わせ時間の確保」が2番目（中学校は1番目）であった。小学校、中学校で3番目に多かった「外部機関等との連携」は4割にとどまり、「校内の指導体制の構築」が3番目に多かった。

問4 習熟度別指導の課題

「習熟の程度に応じて集団を編成した指導」を行うことについて、実施上の課題は何だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 生徒の実態に応じた教材等の開発と指導方法の工夫改善
- 2 教員間の打ち合わせ時間の確保
- 3 生徒の学習状況の的確な把握
- 4 教室の確保
- 5 生徒への説明や理解
- 6 保護者への説明や理解
- 7 校内研修の充実
- 8 その他（具体的に）



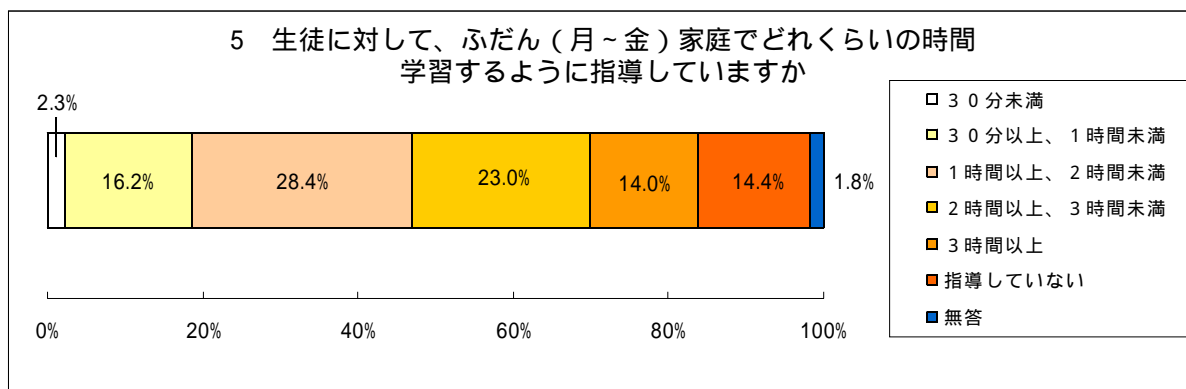
小学校・中学校と同様に、「生徒の実態に応じた教材等の開発と指導方法の工夫改善」をあげた学級担任が最も多く、6割強であった。次が「生徒の学習状況の的確な把握」の46.4%、「教員間の打ち合わせ時間の確保」の33.8%、「生徒への説明や理解」の31.1%であった。

小学校・中学校で多かった「保護者への説明や理解」（小学校54.3%、中学校45.6%）はわずか8.9%であった。

問5 生徒生徒の家庭学習時間の指導

あなたは生徒に対して、ふだん（月～金曜日）家庭でどれくらいの時間学習するように指導していますか。あてはまるものを一つ選んでください。

- 1 30分未満
- 2 30分以上、1時間未満
- 3 1時間以上、2時間未満
- 4 2時間以上、3時間未満
- 5 3時間以上
- 6 指導していない

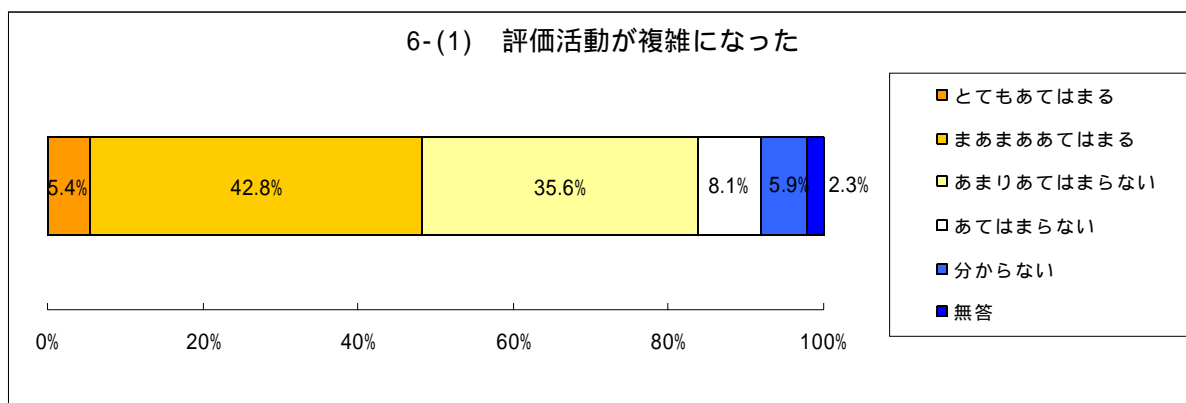


小学校・中学校と異なり，回答が大きく分かれた。

問6 - 1 評価活動

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

- 「評価活動が複雑になった」
- 1 とてもあてはまる
 - 2 まあまああてはまる
 - 3 あまりあてはまらない
 - 4 あてはまらない
 - 5 分からない

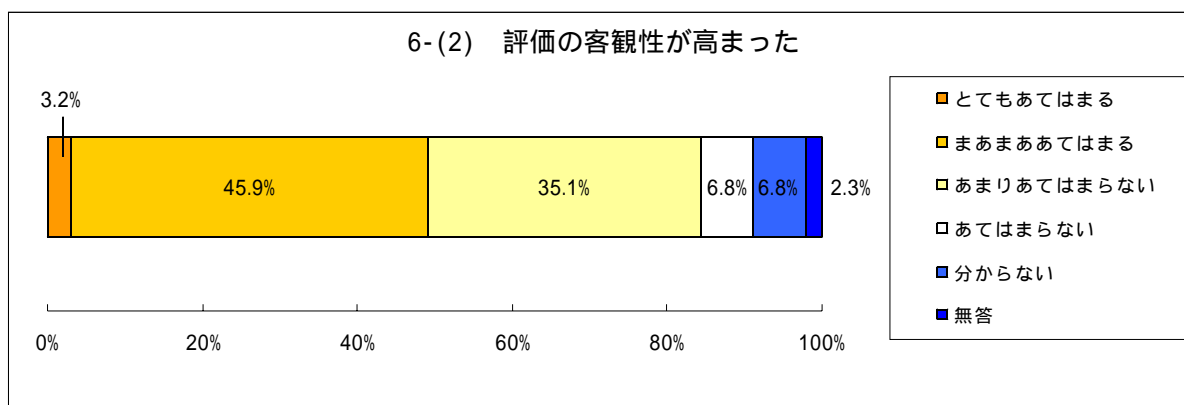


評価活動が複雑になったと答えた学級担任は、「まあまああてはまる」を加えても5割に満たなかった（48.2%）。

問6 - 2 評価の客観性

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

- 「評価の客観性が高まった」
- 1 とてもあてはまる
 - 2 まあまああてはまる
 - 3 あまりあてはまらない
 - 4 あてはまらない
 - 5 分からない

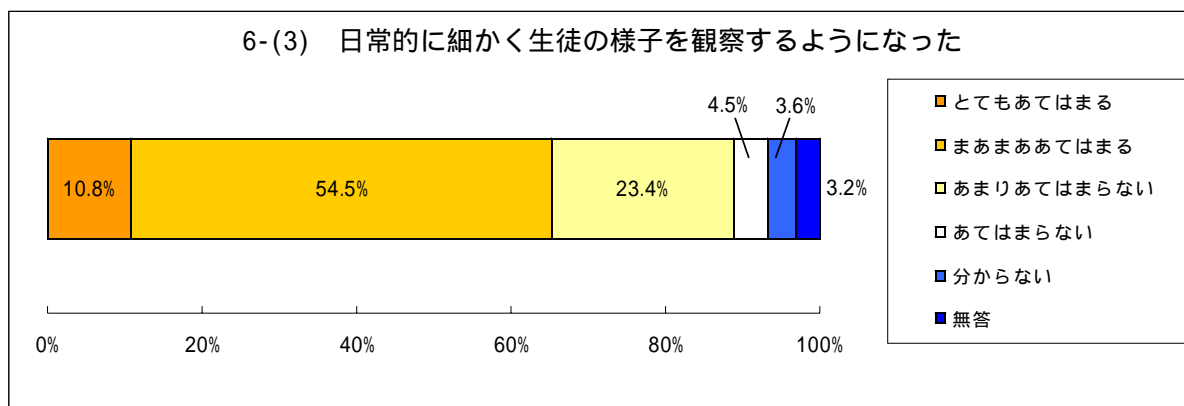


「まあまああてはまる」を合わせると、評価の客観性が高まったと答えた学級担任が5割弱(49.1%)であった。

問6 - 3 生徒生徒の観察

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

- 「日常的に細かく生徒の様子を観察するようになった」
- 1 とてもあてはまる
 - 2 まあまああてはまる
 - 3 あまりあてはまらない
 - 4 あてはまらない
 - 5 分からない



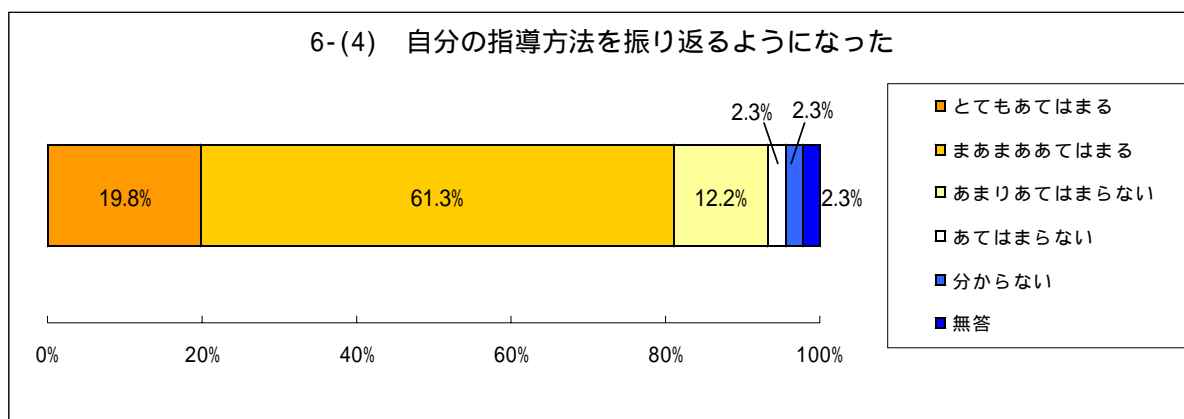
「まあまああてはまる」を合わせると、日常的に細かく生徒の様子を観察するようになったと答えた学級担任が65.3%であった。

問6 - 4 指導方法へのフィードバック

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

「自分の指導方法を振り返るようになった」

- 1 とてもあてはまる
- 2 まあまああてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 分からない



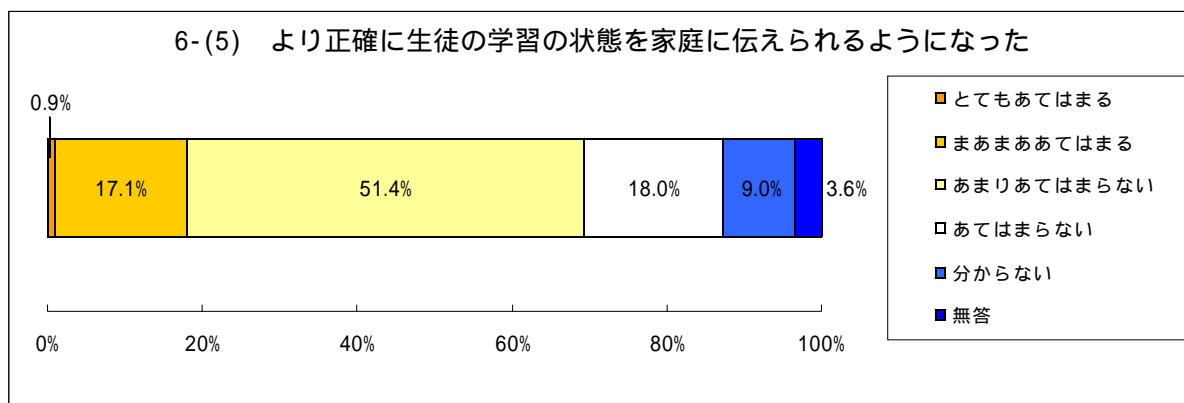
「まあまああてはまる」を合わせると、8割強（81.1%）の学級担任が自分の指導方法を振り返るようになったと答えた。

問6 - 5 生徒生徒の学習の状態の連絡

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

「より正確に生徒の学習の状態を家庭に伝えられるようになった」

- 1 とてもあてはまる
- 2 まあまああてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 分からない



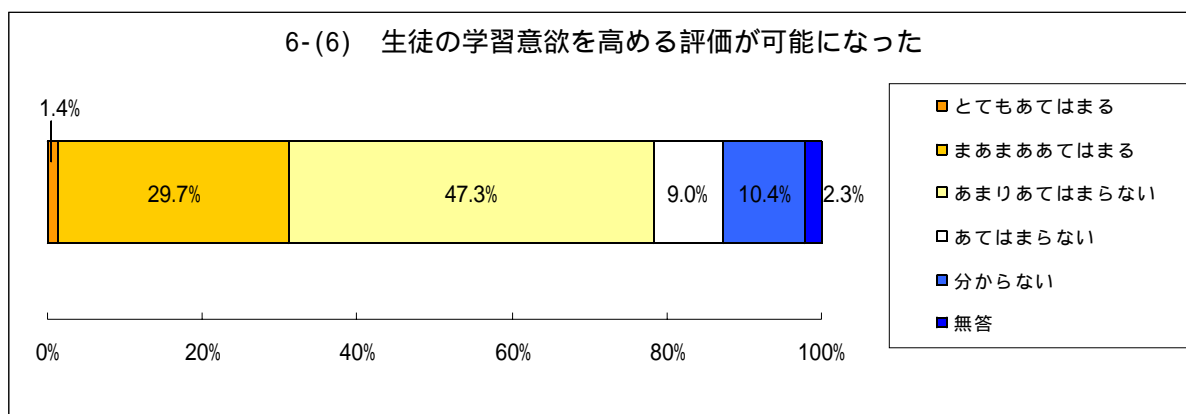
「まあまああてはまる」と答えた学級担任は18.0%であった。半数以上の学級担任は「あまりあてはまらない」と答えた。

問6 - 6 学習意欲を高める評価

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

「生徒の学習意欲を高める評価が可能になった」

- 1 とてもあてはまる
- 2 まあまああてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 分からない



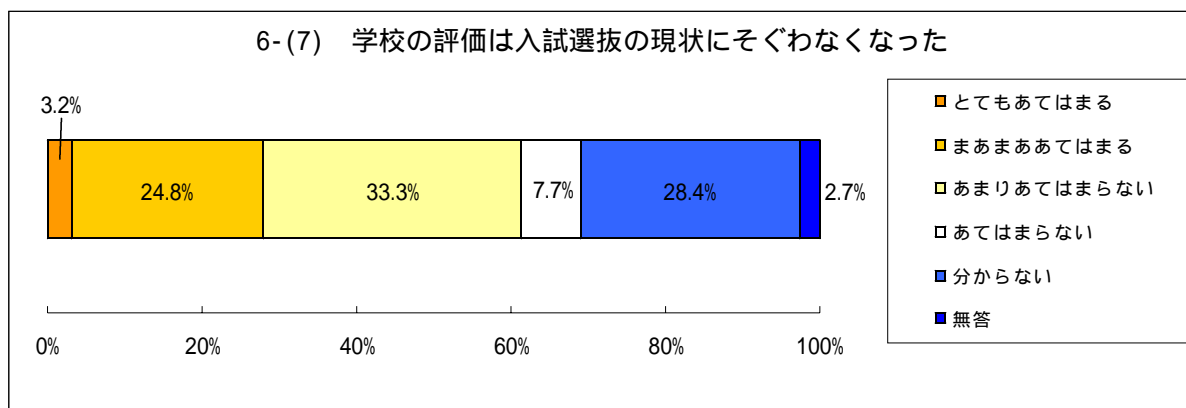
「まあまああてはまる」を合わせると、3割強（31.1%）の学級担任が生徒の学習意欲を高める評価が可能になったと答えた。

問6 - 7 評価と入試選抜方法

あなたの最近の生徒に対する「評価」を概観した上で、次のことについて、どの程度あてはまりますか。一つ選んでください。

「学校の評価は入試選抜の現状にそぐわなくなった」

- 1 とてもあてはまる
- 2 まあまああてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 分からない

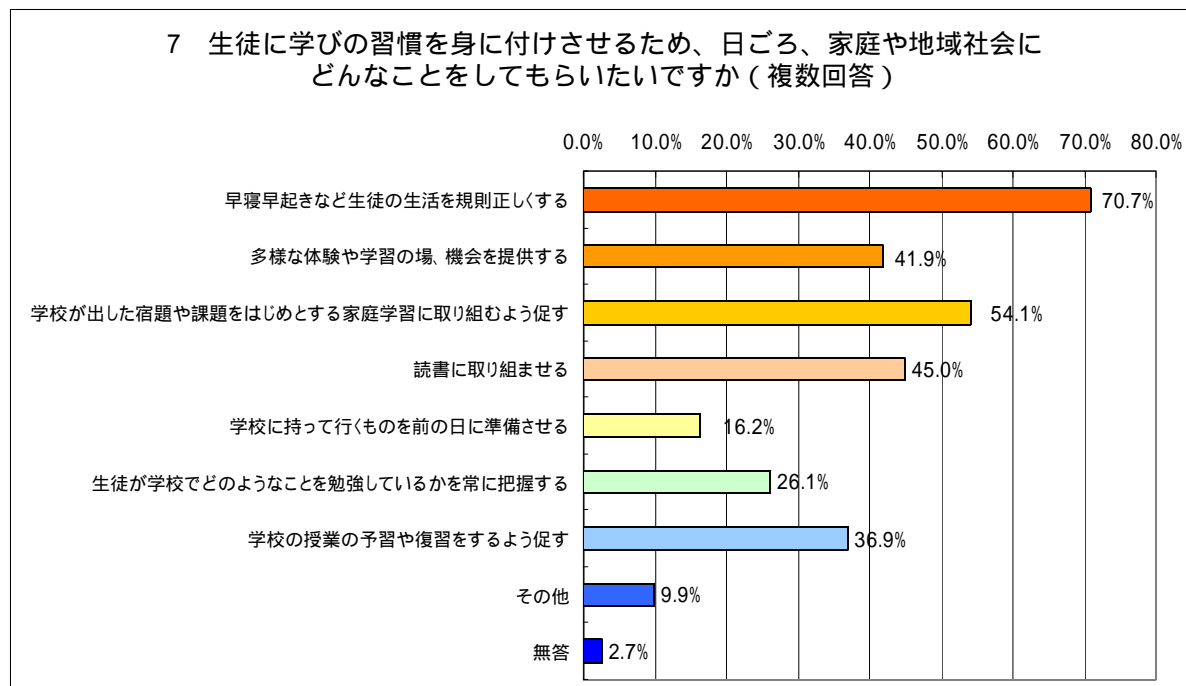


学校の評価は入試選抜の現状にそぐわなくなったと答えた学級担任は、「まあまああてはまる」と合わせると約3割（28.0%）であった。また、3割近くの学級担任は「分からない」と答えた。

問7 家庭や地域社会に望むこと

生徒に学びの習慣を身に付けさせるため、日ごろ、家庭や地域社会にどんなことをしてもらいたいですか。次の中からすべて選んでください。

- 1 早寝早起きなど生徒の生活を規則正しくする
- 2 多様な体験や学習の場、機会を提供する
- 3 学校が出した宿題や課題をはじめとする家庭学習に取り組むよう促す
- 4 読書に取り組ませる
- 5 学校に持って行くものを前の日に準備させる
- 6 生徒が学校でどのようなことを勉強しているかを常に把握する
- 7 学校の授業の予習や復習をするよう促す
- 8 その他（具体的に）



小学校・中学校と同様に、「早寝早起きなど生徒の生活を規則正しくする」、「学校が出した宿題や課題をはじめとする家庭学習に取り組むよう促す」、「読書に取り組ませる」、「多様な体験や学習の場、機会を提供する」が多かった。

「学校に持って行くものを前の日に準備させる」が少なかった（小学校54.3%，中学校40.0%）反面、「生徒が学校でどのようなことを勉強しているかを常に把握する」（小学校18.3%，中学校13.3%）、「学校の授業の予習や復習をするよう促す」（小学校6.1%，中学校33.3%）が高等学校では多かった。

「その他」は、「聞く態度や集中力を育てる躰」、「生徒の実態の把握」、「子供と居る時間をもっと大切にすること」、「食生活・健康管理」、「親が茶髪にしないこと」などであった。